

よもやま話に花が咲く。えきんぐらがお届けする小ネタ袋。

蔵通信

十一号
2008.2

第十話 命がけの愛
シリーズ
絵金百話

発行：絵金蔵運営委員会
発行日：2008年2月1日
〒781-5310
高知県香南市赤岡町538
Tel.Fax 0887-57-7117
ekingura@mxi.netwave.or.jp
http://www.ekingura.com/



INFORMATION

沖縄民謡飛鳥なごい

みいはいゆライブ
めんそーれ



平成17年2月にオープンした絵金蔵。おかげで
までまもなく3周年を迎えます。文文やかで
がこの日を記念し、地元高知で活躍する沖縄バ
ンド・みいはいゆを迎え、コンサートを開催いたし
ます。お酒を飲みながら、おしゃべりしながら、
やっつりのんびり絵金蔵の夜を楽しみませんか。
皆さま、お誘いあわせてめんそーれ!

沖縄バンド【みいはいゆ】

2000年、沖縄音楽を愛する土佐人たちが集まり、三線サークル「かりゆしの会」を結成。現在は「沖縄バンド・みいはいゆ」として毎月の定期ライブをこなし、県下のさまざまなイベントでも活躍中。

ゲスト：花山海・山崎 潤・@MIKA

2008年

2月9日(土)

場所：絵金蔵

開演：午後7:00(開場6:30)

入場料：1,000円(限定100席)

*前売りチケットは絵金蔵にてお買い求めください。
電話やファックス、Eメールでのご予約もできます。

カウンターにあるなあ。
地酒やビール、ソフトドリンク、
おつまみやサンドイッチなどの
軽食もあるなあ。
お帰りに「ごめん・なはり線」
を利用してね。

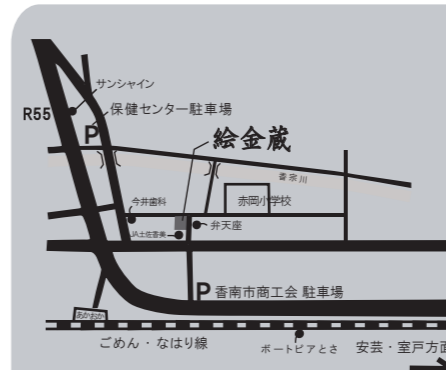


編集後記

絵金蔵もようやく三周年。住民が文化施設を運営するということ、五里霧中の三年間で、五がお客様をはじめ、周りの方々に支えられて、感謝の三年間でもありました。これからは元氣な赤岡町と絵金蔵を知っていただくようなパワーアップする予定ですので、これまでも同様応援をお願いいたします。
さて三月八日は絵金蔵の命日。墓所は高知市北の裏山です。入口には地蔵もあり。同じ山の中には、人斬り以蔵こと岡田以蔵の墓もあります。アクセスも便利など、いろいろありますが、機会があれば訪れてみてください。
(蔵長・横田 恵)
絵金蔵運営委員会のメンバーが、みいはいゆライブが、いよいよ実現。カウンターバーのメニューも泡酒やちまきなど、いつもと違った新しいものを計画しています。
絵金蔵は米蔵を改装してできた施設。蔵ならではの音の響きが演奏者たちに評判よく、米蔵だった時からライブが行われていました。絵金蔵がオープンしてからも、年一、二回のペースで間の展示室がコンサートホールに早変わりします。
春が待ち遠しい季節に、暖かい沖縄の風が吹く、幸せな時間をぜひ一緒に

〔絵金蔵〕

開館時間
午前9時～午後5時
(入館は午後4時半まで)
観覧料
大人500円、高校生300円
小・中学生150円
(15名以上の団体は各50円引き)
休館日
毎週月曜日
(月曜が祝日の場合は火曜)
12月29日～1月3日



幕末土佐の芝居絵師・金蔵(通称・絵金)。彼は土佐各地の祭礼に多くの芝居絵屏風を残しました。絵金蔵は、平成17年2月、赤岡の地に残る23点の芝居絵屏風を収蔵・保存するために作られた施設です。

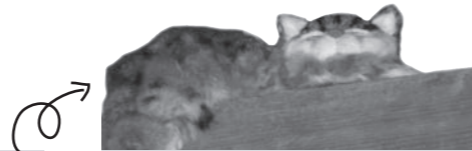
絵金蔵の三つの使命

年に一度
絵金の文化を
守るため
伝承
次の世代へ
伝えるため
縁結び
地域を超えて
世代を超えて

絵金蔵がで・き・る・まで☆

part IV 「中越令子の仕事」編

平成17年2月11日にオープンした絵金蔵はもうすぐ3歳。ここに至るまでには話せば長い道のりがありました……。まちづくりをめぐる、さまざまなディスカッションを重ねてきた地域の人々のユニークな試みを紹介します。



令子さんが展示室の梁に置いた猫。ずーっとまどろんでいるのかと思いきや、スイッチをいれるとセンサーで人の動きを察知してニャーと鳴くそう。(みんな初耳!!)

町並みキルト製作秘話

絵金蔵2階展示室の壁一面に飾られる町並みキルト。一人の女性作家のインスピレーションと情熱から、絵金蔵のために生まれました。

お客様からも「どんな人が作ったの?」とお問い合わせの多いこの作品。作者は高知在住の中越令子さん。絵金蔵ができるまでの赤岡のまちづくりにも関わって来られ、イラストレーターとしても活躍されています。

展示室に町並みを再現したら、というアイデアから、それなら平面的なものではなく立体的に作れないか、そこから試行錯誤が始まり、構想一か月、製作に約半年をかけてようやく出来上がりました。

瓦は藍色を基調とした古布を使用。ひとつひとつ柄や色合いの違う、表情豊かな瓦たちは、現代のスレート瓦にはない、赤岡の瓦の味わい深さ、温かさを、今も静かに語りかけています。



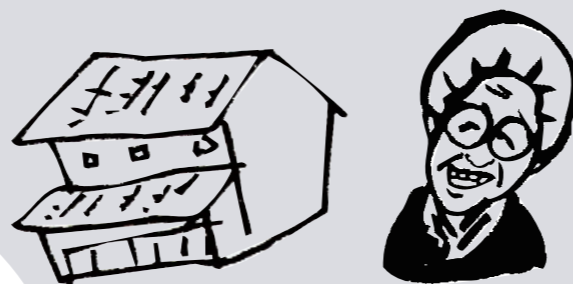
小さな展示室内に広がる、壮大な町並みキルト。開館当初は「ピシッ!」としていましたが、今は少し垂れ気味に赤岡らしく(!?)なってきました。



れいこさんワールドが広がるお店にもぜひ...

GRAD DE BICO

高知市洞ヶ島3-5 tel&fax 088-875-7330
営業時間 11:00-18:00 不定休



絵金蔵でお配りしている町の地図も令子さん作。ユニークで暖かいイラストは令子さんのお人柄そのもの。

絵金百話

第十話 命がけの愛

はなのうえのほまれのいしぶみ しどうじ
花上野誉石碑 志度寺

< 概要 >

「花上野誉石碑」は寛永18年(1641)讃岐・丸亀家の家臣田宮小太郎が江戸で柳生飛騨守に剣を学び、親の敵を討ったという事件に金毘羅権現の靈験談を合わせた作品。歌舞伎「幼稚子敵討」*1などを受けて成立した人形浄瑠璃「敵討稚物語」*2の改作で、通称「田宮坊太郎」と呼ばれ、人形浄瑠璃として天明8年(1788)8月江戸・肥前座にて初演されました。作者は司馬芝叟、筒井半二、亶侯多蔵、玉木筆二。初演時は全7段まででしたが、初演の半年後、江戸・肥前座と対立する江戸・薩摩座で8・9・10段が多蔵・筆二により増補、上演されました。

物語は実際に仇討事件が起こったとされる讃岐・丸亀藩を舞台に始まります*3。丸亀家の家臣民谷源八は、その腕前をねたんだ同家剣術師範森口源太左衛門に闇討ちされ、妻操も森口の悪計により品川の遊女に戻され、一子坊太郎は孤児同然の身となります。坊太郎は森口から身を守るため伯父槌谷内記の計らいで同国志度寺に預けられ、敵を油断させるため口がきけないよう偽装されます。しかし、事情を知らない坊太郎の乳母お辻は自身の命を金毘羅大権現に捧げ、坊太郎の口がきけるようにと祈りを込めて自刃します。のちに坊太郎は金毘羅権現の靈夢により江戸へ出て剣の技をみがき、ついには敵討ちに成功したのでした。

絵金の描くこの志度寺の場面は、蒼白の顔に髪を逆立て、首からおびたしい血をしたたかせたひときわ恐ろしい姿のお辻が中心になっています。主人の子を守るため、火断ち穀断ちをし、さらには水垢離をとり、最期には自らを守り刀でつらぬき「サア物を言はしやれぬか言はしやれぬか」と叫ぶお辻。そのすさまじい気迫と執念のほとばしる瞬間が絵の中に封じ込まれています。

芝居の世界でもこのお辻の演技が見どころとなり志度寺の段は度々上演されました。今回は赤岡町本町1区に伝わる芝居絵をご紹介します。

- *1 宝暦3年(1753)7月、大阪・三枳大五郎座にて上演。
- *2 明和元年(1764)7月、大阪・竹本座にて上演。
- *3 『西讃府志』(安政5年=1858)はこの事件の信憑性を疑問視しており、平出經二『敵討』(1990年、中央公論社)では宮本武蔵の敵討同様「芝居や講釈師や浪花節などの方から出た」虚構とみなされています。

絵金の時代

I 金毘羅信仰の隆盛

『花上野譽石碑』には角書に「金毘羅利生記」とある通り、庶民のなかでの金毘羅崇拝の高まりが色濃く反映されています。そんな江戸時代の金毘羅信仰のあり方を少しご紹介します。

金毘羅信仰の高まり

金刀比羅宮のある香川県仲多度郡の象頭山は古来より農業を守護する山として信仰され、また瀬戸内の漁民や船乗りからは「山あて」（航海の目印）として尊ばれてきました。その象頭山に金毘羅神が鎮座したのは16世紀後半と伝えられています。

18世紀初頭には九州・中国などの瀬戸内海沿岸の大名たちの代参がはじまり、その信仰は次第に全国に広まっています。やがて『象頭山金毘羅大権現靈驗記』（明和6年=1769）、『金毘羅御利生記』（寛政12年=1800）などが現れ、19世紀には金毘羅信仰に取材した滝沢馬琴や十返舎一九の作品も刊行されました。

昭和25年の神社本庁調査によると香川95社、高知57社、長崎47社など、35都道府県、総数658社に及ぶ金毘羅神を祭る神社が確認されています。

信仰の担い手たち

初期の金毘羅信仰を担ったのは遠距離航路の船乗りたち。急速に広がった時期は豊臣秀吉による朝鮮出兵とそれに続く朱印船貿易の時代とも重なります。当時の讃岐領主は文禄の役に5500人を率いて渡海し、瀬戸内海諸島からも多くの船乗りたちが動員されました。

信仰が農民や商工業者たちにも広がり始めると、流行に敏感な戯作者たちは『金毘羅御利生 幼稚敵討』、『金毘羅御本地 崇徳院讃岐伝記』、『金毘羅利生記 花上野譽石碑』などを次々と発表していきます。安藤広重「東海道五十三次乃内沼津」に描かれる白装束に天狗の面を背負った金毘羅行者もこうした信仰の広がりの一翼をになった人々でした。

土佐における金毘羅信仰

香川県琴平町の本殿に至るまでの常夜燈や石柱には土佐を表す「土州」の文字がおびただしく並んでいます。こうした石造遺物は幕末から明治にかけて盛んに作られました。

村人たちは講を組み、参詣のために米や金銭を積立て、一定額になると10~40人ほどが代参を行いました。山間部でも信仰され、香美市物部村では不信心な者は舟を転覆させ、信じる者には武術財宝を得させ、悪鬼退散させるなど荒々しく多能な神として伝えられています。

幡多郡西土佐村（現、四万十市）西ヶ方、宿毛市山奈町、南国市十市などに金毘羅権現を祀る神社が残っています。

参考：『香川県の地名』平凡社
『高知県百科事典』高知新聞社 1976年7月
『金毘羅信仰』民衆宗教史叢書 第19巻 雄山閣 1977年7月
浦山政雄「金毘羅利生記の伝系」『国語と国文学』第35巻第10号 至文堂 1958年10月



ええ？



みんみん！



なにも
そのままで…



おばけい
ありませ
ん。



小僧、
やるな！

どぎーいとーぎー、
まもなく志度寺の段
はじまります！



な、
なんてニとー！

■ 禪りゝしくも小太刀構へて

お辻の願いが金毘羅権現に届いた証拠に武芸の上達を見せよ、という榎谷内記の指示で門弟十蔵、数馬を相手に、禪がけに小太刀を構え、りりしい姿で剣の上達ぶりを披露する坊太郎。自らを刺し貫いたお辻に狼狽する坊太郎と、剣術を披露する坊太郎。ここにも絵金独特の異時同図法が用いられています。



■ 冥土の餞別、引導せよ。

お辻の思いがけぬ行為に動顛しながら介抱する菅の谷。夫、榎谷内記は「ヤアヤア坊太郎、今こそ赦す暇乞ひ、乳母が冥土の餞別に、引導せよ。」と坊太郎の戒めを解きます。

■ サア物を言はしやれぬか！

守り刀を逆手に取り、体にぐっと突き立て引き回すお辻。その視線の先の梢の向こうに黒い霧のような影が…。「手負いひの目にはまざまざと、拜まれ給ふ梢の方。アレアレ、金毘羅大権現、エ、有難い」と伏し拜み、断末魔のなか笑いながら死んでいきます。

■ 乳母よ、堪忍してくれ！

伯父の許しを聞き合掌し「南無阿弥陀仏」と唱える坊太郎。「ヤアヤアそんなら物が言はれるか言はれるかいなう。」と喜ぶお辻に坊太郎は「乳母よ、堪忍してくれ」とわっと泣き出す…。というのは原作の話。絵金の描く坊太郎はお辻の深刻さに比べ、なぜかあっけらかんとして明るく、事態を飲みこめないやんちゃ坊主のままのようにも見えます。



花上野誉石碑 志度寺

二曲一隻屏風/紙本著色/182.0×169.0cm
赤岡町本町一区所蔵

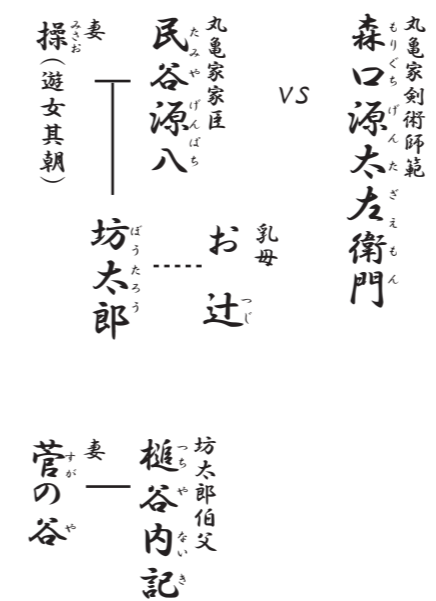
— あらすじ —

森口源太左衛門によって父を殺されその森口から身を守るため叔父榎谷内記の計らいで丸亀家の菩提所、志度寺に預けられ、口がきけないふりをさせられている一子坊太郎。

その偽装を知らず、坊太郎の口がきけるようにと一心に祈り断食をする乳母のため、寺の庭園に植えられた殿様への献上の桃を盗んだ坊太郎は、寺を訪れた森口にとがめられ、散々にはずかしめられる。

その坊太郎をかばい、嘆く乳母お辻はついにわが命と引き換えに坊太郎の病を治そうと金毘羅大権現に祈りながら自刃する。虫の息のなかで坊太郎の声を聞き、自身の祈請によって坊太郎の知恵才覚と武術が目覚しく進歩したことを知ったお辻。末期には坊太郎の武術の上達を目の当たりにし、杉の梢に金毘羅大権現の姿を見ながら息を引き取る。

志度寺の段 主要登場人物



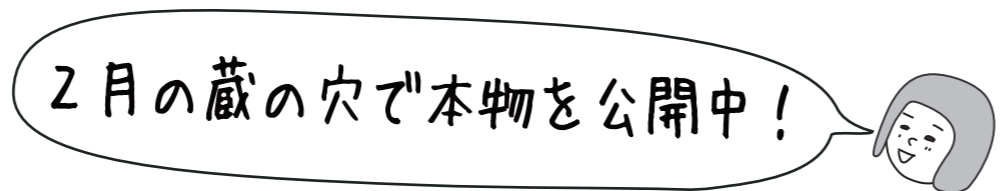
損な役！？

～後者の言葉より～

明治42年(1909)4月、東京・歌舞伎座でお辻の役を初めて演じた、当時芝翫の五代目中村歌右衛門はお辻という役柄について「何分断食をしてみた人ですから、本当に声をだすことはできず、さうすれば何となく陰気になる、陰気にしなければお辻の性根がなくなる、さうさう陰気にすると見物が倦きるといふ次第で出しは出しましたが損な」役だと語りました。

(『歌舞伎登場人物事典』)

乳母が命は権現へ捧げし犠牲。この和子が業病を一度本復なさしめて、本望遂げさせたび給へ。南無象頭山金毘羅大権現、南無象頭山金毘羅大権現。一念凝つては髪逆立ち、眼血ばしる有様に、坊太郎は只うろうろと、背撫でさする。



【参考文献】
『日本名著全集 江戸文芸之部 歌謡音曲集』日本名著刊行会 1929年
『五月大歌舞伎』松竹株式会社演劇部 1964年5月
『国立劇場上演資料集 102』国立劇場調査養成部・芸能調査室 1974年2月
『歌舞伎事典』平凡社 1993年4月
『歌舞伎登場人物事典』白水社 2006年5月
『絵金展 土佐の芝居絵と絵師金蔵』高知県立美術館 1996年
『絵金蔵収蔵品目録』赤岡町 2005年2月
近森敏夫『絵金読本』香南市商工水産課 2006年3月 改訂版

